

同志社講座

— 2020年 秋学期 —

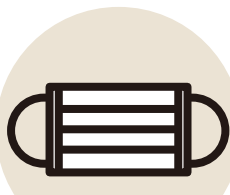


同志社大学 東京サテライト・キャンパス

Tokyo Satellite Campus, Doshisha University

受講される皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご協力をお願いします。
*ご協力いただけない場合は入室をお断りすることがございます。



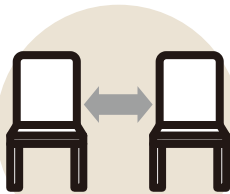
マスクを着用してください



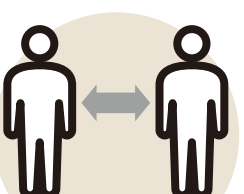
入口に消毒液を設置しています
手指消毒を徹底しましょう



入室時に非接触型体温計による
体温測定を実施します



距離を保つため1テーブルに
1名でご利用ください



受付前で並んでいただく際は
一定の距離を保って！



講座前後の会話は控えめに

<検温・健康管理のご協力>

日常的に体温測定及び健康観察をお願いいたします。入室時に検温をいたします。37.5℃以上の発熱や風邪症状等の不調がある場合は受講をお断りします。

<マスク着用のご協力>

構内では常にマスクをご着用ください。咳、くしゃみなどをする際は、咳エチケットを守ってください

<手洗い・消毒のご協力>

入口に消毒液を設置しています。手指消毒を徹底してください。

<その他>

厚生労働省が配布している新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をご利用ください。

日頃より行動履歴（いつどこに立ち寄ったか、誰とどこで会ったか等）の自己記録をつけましょう。

受付は講義開始の45分前からです。ロビーの混雑を避けるため、受付を済まされた方は会場に速やかにお入りください。

構内での会話はお控えください。

用具等の共用（貸し借り）はしないでください。

構内での飲食は原則禁止といたします。（熱中症予防としての水分補給は適宜行ってください。）

<下記事項に該当する方のご受講はご遠慮ください>

- ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方
- ・同居家族や身近な知人に感染の疑いがある方
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等へ渡航された方ならびに当該在住者との濃厚接触がある方

感染時に重篤化する可能性の高い高齢者や持病のある方は、受講について慎重な検討をお願いいたします。

公的機関（保健所等）から新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とする要請がある場合、受講生の個人情報を提供する場合があります。

※感染状況に応じ、同志社大学の判断で休講する場合があります。

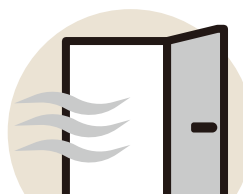
新型コロナウイルス感染拡大防止のため 同志社大学東京オフィスでは以下の対策を実施しています



手洗い・消毒・検温・マスク着用を
徹底しています



テーブル・イスや人が触れる
箇所はこまめにアルコール
消毒液で清掃しています



ドアを開放しビルの空調換気効果が
最大になるよう努めています

○スタッフは日常的に体温測定及び健康観察を行い、発熱又は風邪の症状がある者は出勤いたしません。マスクを着用いたします。

○勤務中の手洗い・手指消毒を徹底しています。

○受講生同士の適切な間隔が保たれるようテーブルを配置し、1テーブル1名の着席とします。

○テーブル・イスなど手が触れる箇所を消毒清掃しています。

○講師と受講生の間に飛沫飛散を防止するアクリルボードを設置する等、安全確保に努めます。

○ドアを開放しビルの空調換気効果が最大になるよう努めます。

※お申込みや受講時の注意事項は6P・7Pをご覧ください。

源氏物語を楽しむ

「帚木・空蟬の巻を読む」

『京都人の視点』で源氏物語を解釈します。京都に今も息づく、独特の言い回しやお付き合いなどは、源氏物語にも見られます。現代の京都の価値観で読み解くと、京都人にしか分からない源氏の世界が見えてきます。（岩坪 健記）

講義日 10/8、11/12、12/10、1/14、3/11 すべて木曜日

帚木・空蟬の巻の魅力とは



「源氏物語」第一帖・桐壺の巻は、光源氏が元服して結婚した12歳で終わります。第二帖・帚木（ははきぎ）の巻では光源氏は17歳になり、複数の女性と交際しています。けれども相手は、光源氏と同じ上流階級の女君ばかりです。帚木の巻の前半は有名な「雨夜の品定め」です。そこでは中流階級の女性と付き合っていた男性の体験談が、光源氏に披露されました。それまで貴族の娘しか知らなかった光源氏にとって、どの話も新鮮でした。しかも、大勢の女房達にかしずかれて、欠点も隠されている上流貴族の女君とは異なり、中流階級の女性は生き生きと語られ、光源氏は急に関心を持つようになりました。帚木の巻の後半と、それに続く空蟬の巻では、光源氏が初めて中流階級の女性と知り合うさまが描かれています。

※同志社大学図書館所蔵 源氏八景

秋学期の読みどころ



「雨夜の品定め」のあと、光源氏は「方違へ」（かたたがえ）を利用して、家来の住居に移動します。そこで偶然出会った空蟬（うつせみ）という女性と深い仲になります。空蟬に夢中になった光源氏は再び会いに行きますが、今度は空振りでした。光源氏は初対面の女性をどのように口説き、空蟬は高貴な男性をどのようにして断ったのか。また、なぜ断ったのでしょうか？二人の駆け引きを読み空蟬の心情に迫ります。＊今期はテキストの81ページ5行目「紀の守に仰せ言」から読みます。

※同志社大学図書館所蔵 源氏八景

万葉集に学ぶ

「テーマ別 万葉びとの暮らし」

唐突に、これまでの生き方を問われ、否応なく自分たちの暮らしをあらためて振り返ってみることが求められた2020年。世の中が容易に対処することのできない問題に突き当たり、途方に暮れてただ祈るしかないような時であっても、過去に目を向ければ、いまを生きるヒントが得られることがあるかもしれません。いったい万葉びとは毎日をどんなふうに暮らしていたのか。万葉びとの悩みや苦しみ、そして楽しみや幸せを見つめます。（垣見 修司記）

1回 10/15木 「万葉びとと疫病」

天然痘の流行で藤原四兄弟が亡くなった天平九年(737)は『万葉集』に載せられる数多くの歌が歌われた時期にあたります。コロナ禍のもと、万葉びとと疫病との関わりを探ります。

2回 11/19木 「万葉びとと健康」

特効薬のない疫病はともかく、ふだんの病気に万葉びとはどんなふうに対処していたのでしょうか。万葉の時代にも医者さんはいて、動植物由来の漢方薬の知識もあったようです。

3回 12/17木 「万葉びとと賭け事」

万葉の時代、賭け事はよく行われていたようです。いま日本人が検察官に至るまで賭け事を楽しむのは無理もないことかもしれません。モラル・ハザードのいま、万葉の歌から、賭け事を振り返ります。

4回 1/21木 「万葉びとと風習」

いまに伝わる年中行事や四季折々に行われる習慣を詠んだ歌を通じて、万葉びとの思いを探ります。たぶんいまの私たちが懐く心情とあまり変わるところはありません。

5回 3/18木 「万葉びとと親子」

妹背などの夫婦、男女間にやりとりされた相聞の歌は多いのですが、人間にとって家族はいつの時代も普遍的なテーマです。とりわけ親子はどんなふうに歌われているのでしょうか。



いわつぼ たけし
講師 岩坪 健

同志社大学文学部 教授

文学博士。1957年京都市生まれ。1981年京都大学文学部国語学国文学科卒。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究 - 中世源氏学の流れ -」で文学博士。1989年「源氏物語の二段階伝授について―河内方と四辻善成・一条兼良をめぐる―」で第16回日本古典文学会賞受賞。2014年「源氏物語の享受 注釈・梗概・絵画・華道」で第15回京式部学術賞を受賞。著書：『源氏物語といけばな』（平凡社/2019）『三玉挑事抄』注釈（研究叢書）（和泉書院/2019）など他多数。

開催概要

定員: 36名

時間: 14:00～15:30

受講料: 各回 3,000円

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

教材: 「大島本源氏物語 帚木・空蟬」



増田繁夫
(編)和泉書院
1,650円(税込み)

毎回ご持参ください。



かきみ しゅうじ
講師 垣見 修司

同志社大学文学部 教授

博士（文学）。1973年奈良県出身。1996年同志社大学文学部文化学科 国文学専攻卒。関西大学大学院 文学研究科 国文学専攻修了。研究分野：上代日本文学『万葉集』巻十三の長歌や、古事記歌謡を主な対象とする。高等学校教諭を経て、2009-2012 岡岡市万葉歴史館研究員。2013年より同志社大学准教授。2017年より現職。2011年第4回萬葉学会奨励賞受賞。著作〔論文〕「下にも長く汝が心待て巻十三・三三〇五～三三〇九問答考」（『萬葉』226号）

万葉集の魅力とは

万葉集に収められている歌は、必ずしも上手なものばかりではありません。後世に盛んになる技巧を凝らした歌を理解するためには知識的な習熟が求められますが、難解な万葉歌はただ歌い方が下手なだけということもあります。万葉びとがテクニクはそこそこにして歌うのは、ただ思いを表白することだけを念頭に置いていたから。だからこそ万葉の歌は、いまの私たちにもストレートに伝わるのだと思います。

開催概要

定員: 36名

時間: 13:00～14:30

受講料: 各回 3,000円

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

資料: 当日配付いたします。

イスラムの視座を知る

「トルコの魅力を語りつくす」

イスラム世界と西欧世界の境界に位置するトルコ。二つの文明世界の接点に位置したことで、この国が置かれてきた数奇な運命を考えていきます。(内藤 正典記)

1回 10/30金 「『文明の十字路』とはどういうことか？」

トルコは「文明の十字路」にあると言われます。いまのトルコを訪ねたときに、西欧文明とイスラム文明が交わっているというのは、どのように表れているのでしょうか。国の成り立ちや制度、人々の気質、価値観の底流にあるイスラム。そして、食文化にみる東西の交流から「文明の十字路」の今を読み解きます。

2回 11/6金 「オスマン帝国とトルコ共和国」

いまのトルコができる以前、600年以上にわたって続いたイスラム国家のオスマン帝国。第一次世界大戦で滅びましたが、果たして、帝国は過去のものなのでしょうか。1923年に近代国家として成立した今のトルコ共和国はもうすぐ建国百年を迎えます。この二つの国は、江戸時代までと明治以降の日本ぐらい大きな違いがあります。比較しながらトルコの奥深さを考えます。

3回 11/13金 「国際政治のなかのトルコ」

日本では、トルコは親日的な国として知られていますが、欧米諸国からは、なぜかひどく嫌われてきました。なぜ、そこまで嫌われたのか？最近では世界遺産のアヤソフィアをモスクに戻すことでバッシングを受けました。その理由を探りながら、トルコという国がもつ強靱さを考えます。

4回 11/26木 「パンデミックを生き抜く知恵」

トルコも新型コロナウイルスの感染拡大で大変な被害を受けました。しかし、トルコ政府の対応には、日本とは大きな違いがあります。そして、トルコ社会はさほど動揺することもなく、この危機を乗り越えようとしています。その知恵の源泉がどこにあるのかをお話することで、新しい「世界を視る眼」を考えましょう。

遺跡に学ぶ

「弥生時代の大混乱～最新研究から」

現代社会と同じように、約2000年前の社会も大混乱でした。発掘調査で出土した遺構や遺物をよくよく観察するとそのことがわかります。考古学の手法で、ものいわぬ遺跡に、昔からある「社会の混乱」のありさまを語らせませう。(若林 邦彦記)

1回 12/16水 「誰が稲作を始めた？～列島編～」

日本列島の稲作開始時期は、地域によって500年以上遅れることがわかってきました。こんなに各地で開始時期が違って「弥生時代」なんて呼べるのでしょうか？だれが列島中に稲作を広めたのでしょうか。みんなで一斉に生業を変える混乱は誰を主体にして起こったのでしょうか。「縄文人と弥生人の相克」の真偽を探ります。

2回 1/27水 「弥生の人々と『いくさ』」



戦闘用の弥生石鏃類(鏡音寺山遺跡出土)

農耕社会が発展していく弥生時代は、人々が武器を準備して戦争をし始めた時代だともいわれています。中国の史書にそう書かれているし、環濠集落や高地性集落は戦乱に備えたムラの跡といわれます。でも、本当にそんなに好戦的だったのでしょうか？集落遺跡とそこから出土する石器、また、最新の暦年代研究をふまえて考えます。キーワードは「シンボルとしての戦争」です。

3回 2/24水 「水害と共にあった弥生の暮らし」



洪水で埋まった弥生竪穴建物(八尾南遺跡)
*公益財団法人大阪府文化財センター 提供

弥生時代、人々が多く住む平野部は、低湿地が多く洪水も頻繁に起こる場所でした。しかし、かれらはそこを動きません。なぜでしょうか。水害の混乱を前提に生きた彼らの在り方とそれが大きく変わる古墳時代の社会への変化が遺跡調査の実態からみえてきます。現代の課題でもある、災害へのレジリエンス(復興)と地域社会とは何か、を2000～1500年前にさかのぼって考えてみましょう。



ないとう まさのり
講師 内藤 正典

同志社大学大学院
グローバル・スタディーズ研究科 教授

博士(社会学)。1956年生まれ。1979年東京大学教養学部教養学科卒。1982年同大学院理学系研究科地理学専門課程博士課程中退。東京大学助手、一橋大学助教授、教授をへて2010年に新設の同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科に移籍。2010～15年、同研究科長。他に、ダマスカス大学(シリア)、アンカラ大学(トルコ)で客員研究員、社会科学高等研究院(フランス)、アバディーン大学(英国)、UNESCOの科学諮問委員を歴任。専門は、現代イスラーム地域研究、ヨーロッパとイスラーム世界の相関地域研究、多文化共生論。近著『イスラームからヨーロッパをみる－社会の深層で何が起きているのか』(岩波書店/2020)『外国人労働者・移民・難民ってだれのこと?』(集英社/2019)『となりのイスラーム』(ミシマ社/2016)『限界の現代史』(集英社/2018)『イスラーム世界の挫折と再生』(編著・明石書店/2014)他多数

開催概要

定員: 36名

時間: 15:00～16:30

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

資料: 当日配付いたします。



わかばやし くにひこ
講師 若林 邦彦

同志社大学歴史資料館 教授

博士(文学)。1967年生まれ。1992年同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程前期修了。2019年「弥生時代地域社会の構造と展開」で博士(文学)取得。同志社大学歴史資料館専任講師を経て2018年より歴史資料館教授。2019年より国立歴史民俗博物館客員教授。京都市埋蔵文化財研究所 発掘調査検証委員や京田辺市文化財保護委員、交野市文化財審査委員会委員なども歴任。著書:『「倭国乱」と高地性集落論』(新泉社/2013)など

開催概要

定員: 36名

時間: 13:30～15:00

受講料: 各回 3,000円

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

資料: 当日配付いたします。

子どもの発育を科学する

「乳幼児の発達を支える音環境」

胎児のころから外の音に耳をすませている赤ちゃんは優れた聴覚を備えています。多種多様な音があふれる日常の中で、子どもたちが自ら探索し、行動し、学びあうことのできる環境を整えるために、現状と望まれる条件をお伝えします。

1回 10/24土 13:30～15:00 講師 **志村 洋子**

「子どもの育ちを支える環境空間」

子どもたちが一日の活動的な時間の大半を過ごす幼保施設。そこにある環境のなかで子どもたちが育っているにもかかわらず、「音」や「明るさ」などのハード面を整えることはつい後回しになりがちです。なかでも「音の環境」は見過ごされることが多いため、聞こえの発達や言葉の獲得にも大きな影響をもたらしています。日々の豊かなコミュニケーションを支え、子どもの多様な表現をしっかり受け止める環境づくりを考えます。

2回 10/24土 15:10～16:40 講師 **川井 敬二**

「聞き取りやすい空間づくり」

この10年あまり、実際の保育室での吸音材仮設による響きの低減の効果を検証する現場実験などを通して、子どもにとっての言葉の聞き取りやすさや室の落ち着きなど、良好な建築音響が保育空間にもたらす効果を実証してきました。そして今年6月、乳幼児の保育室に関する規準が日本建築学会から刊行され、今後は現場における音に対する配慮が広まることを期待して、その要点や、どのような工夫ができるのかについて提案します。

3回 10/31土 13:30～15:00 講師 **嶋田 容子**

「子どもの聴く力と保育室の音」

子どもたちは環境を通して自ら学が存在です。先生や友だちの声・言葉、周囲の自然や部屋の音の風景、楽器や音楽など、「音」もまた学びを支える「環境」として、適切かつ豊かにできるように配慮したいものです。音の環境を見直すために、耳のしくみ、聴覚の発達のメカニズム、子どもとおとなの聴力の違いなどを解説します。また日々の活動を大切にしながら、限られた予算の中で工夫を施した園の取り組みもご紹介します。

4回 10/31土 15:10～16:40 講師 **志村 洋子**

「ワークショップで体験する」

音の環境による聞こえの違いを実際に体験してみましょう。また講義を通して理解した内容を活かし、子どもの育ちを支える環境を整えた室を実際に描き、その過程で確認したいこと、質問したいことなどに応じます。また、希望される方にはOAEという機器によって聴力を計測します。
協力：保育施設の室内音環境改善協議会

感染症を科学する

「インフルエンザから学ぶこと」

インフルエンザは未だに制圧されていない人類に対する大きな脅威である。これまでの人類の戦い、これからの戦略を科学の面から概説する。その経験と知識は、間違いなく新型コロナに対する治療薬開発の指針となると思われる。

1回 11/7土 14:30～16:00 「インフルエンザとは何か？」

インフルエンザとはインフルエンザウイルスによる感染症である。特にA型インフルエンザウイルスは我が国でも毎年流行を引き起こす。その一方で、時に世界的感染爆発(パンデミック)を起こすこと、新型ウイルスが出現することから、未だに人類にとって大きな脅威である。この脅威に対して正しく対応するためには、正しく敵を知らなければならない。インフルエンザウイルスとは一体何者でどのように増えるのか、どのように病気を起こすのか、どうやって高病原性を獲得するのか、等について科学的に分かりやすく概説する。

2回 11/28土 14:30～16:00 「治療薬の開発戦略と展望」

正しく敵を知ることができれば、どうすれば制圧できるかの戦略を立てることができる。現在使用されている抗インフルエンザ薬が、どのような戦略に基づいて開発されてきたのか、その課題は何なのか、今後どのように展開・発展してゆくのか、を具体的に概説する。インフルエンザとの戦いの中で人類が獲得してきた経験と知識が、現在世界的に猛威を振るっている新型コロナに対する治療薬開発にどう生かされるのか、その展望についても触れてみたい。



しむら ようこ
講師 **志村 洋子**

埼玉大学名誉教授、同志社大学
赤ちゃん学研究センター嘱託研究員

博士（教育学）。専門は乳幼児音楽教育。保育室空間の音環境に関する研究。東京藝術大学音楽学部声楽科卒。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。2016 年埼玉大学名誉教授。2000～01 年ストックホルム大学音声言語研究施設において文部省在外研究員。著書：『赤ちゃんで理解する乳児の発達と保育「運動・遊び・音楽」』（共著・中央法規出版）『乳幼児の音楽表現—赤ちゃんから始まる音環境の創造—』（共著・中央法規出版）等。



かわい けいじ
講師 **川井 敬二**

熊本大学大学院先端科学研究部
（工学土木建築学科建築学プログラム）教授

博士（工学）。専門は建築音響学。東京大学工学部卒。1996 年熊本大学工学部助手、2019 年より教授。日本建築学会子どものためのための音環境WG主査。『学校施設の音環境保全規準・設計指針』改定版において追加された保育施設の規準・指針の執筆を担当。



しまだ ようこ
講師 **嶋田 容子**

同志社大学赤ちゃん学
研究センター嘱託研究員

文学博士（発達心理学）。発達臨床心理士。京都大学文学研究科博士課程研究認定退学、同志社大学赤ちゃん学研究センター研究員等を経て、2018～19 年金沢学院短期大学幼児教育学科専任講師。2018～20 年度石川県私立幼稚園協会研修会助言者および金沢市保育研修会講師。

開催概要

定員: **30名**

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

資料: 当日配付いたします。



にしかわ きよたか
講師 **西川 喜代孝**

同志社大学生命医科学部
医生命システム学科 教授

薬学博士（東京大学）。1984 年東京大学薬学部薬学科卒。1989 年同大学院博士課程修了。慶應義塾大学医学部薬理学教室助手、米国ハーバード大学医学部細胞生物 (Prof. Lewis C.Cantley) ポスドクを経て 1998-07 年国立国際医療センター研究所臨床薬理研究部室長。2002-06 年科学技術振興機構さきがけ研究員兼務。2007 年 4 月同志大学生命医科学部設置準備室、2008 年 4 月より現職。＜研究テーマ＞インフルエンザ等のウイルス感染症、O157 やコレラ等の病原性細菌感染症に対する治療薬、がん・炎症性疾患・骨粗鬆症等の各種疾患治療薬の開発の推進。

開催概要

定員: **36名**

受講料: 各回 **3,000円**

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。

資料: 当日配付いたします。

日本近現代史に学ぶ

「コロナと現代社会を考える」

コロナ禍と向き合っている現在、私たちに問われているのは何か。コロナの最も有効的な手立ては、政治的にはファシズム体制である。私たちは今、コロナと向き合いながらファシズムの思想と制度の不都合さを学んでいる。それを歴史的に考える。(保阪 正康記)

1回 10/23金 「開国でどのような疾病が入ってきたか」

幕末、維新で開国に踏み切った日本は、外国との交易、人的交流によって、全く新しい疾病と出会うことになった。コレラやウイルスなどにより、日本社会にどのような変化が起こったのか。その疾病に対する新しい政治権力の対峙の形を検証しつつ、実は予防対策も不平等条約と関わりを持つことを確認する。

2回 11/20金 「西南戦争とコレラの関係でわかること」

明治に入ると日本でもコレラが広がる。この病は幕末から断続的に広がりを見せていた。しかし西南戦争時には全国から政府軍に組み込まれた兵員や巡査が九州にやってきた。彼らによってどのように広がったのか、できたばかりの内務省衛生局が獅子奮迅の活躍をしたことなどを改めて見てみる。

3回 12/18金 「スペイン風邪と第一次世界大戦の環」

スペイン風邪は第一次世界大戦の折にヨーロッパ、アメリカから世界的な広がりを見せた。日本でも3回にわたって流行の兆しがあった。日本も国民の半分はこの風邪にかかり、医療事情の悪い農村では全滅したところもある。こういう風邪はどういう状態で全国規模になるのか確かめておきたい。

4回 1/15金 「結核と大正・昭和の闘いの実相」

結核は日本では明治から増えていき、大正時代には国家としてその対策を全面的に考えなければならなくなった。死者も極端に増えた。結核は日本社会の価値観や人生観を大きく変えていった。結核との戦いに注ぎ込まれた国のエネルギーはそれほど大きくはならなかったが、それは軍事指導者たちに国力の停滞を生むとの不満があったからだ。疾病と軍国主義を考える。

5回 2/19金 「コロナ禍と現代社会/その1・医学的分析」

コロナウイルスの実態はまだ十分に解明されていない。それ故に特効薬がすぐにできるわけではないという。しかし近年の医学研究のスピードでは、予想外に早く特効薬の完成に至るとも言われている。これまでのコレラ、スペイン風邪、結核などを克服してきた人類は、このウイルスを制御したとしてもこれからこの種のウイルスは変異によって生まれるだろう。医学的に考えての人類史は新視点が必要である。

6回 3/19金 「コロナ禍と現代社会/その2・社会的分析」

コロナ禍による社会的変化は政治的には極めて憂うべき状態になるであろう。ファシズム体制やナショナリズムの歪み、さらには命の選別などを主張する過激な論者も出てくるであろう。なぜそうなるのか。生きる、という現実を前にして、自分が生きるためには生きる価値のない者を探す方向にいきかねないからだ。その芽が出ているように思う。



ほさか まさやす
講師 保阪 正康

ノンフィクション作家・評論家
日本近現代史研究者

1939 年 札幌市生まれ。
1963 年 同志社大学文学部社会学科卒。
1972 年 『死なう団事件』で作家デビュー。
2004 年 個人誌『昭和史講座』の刊行をはじめ一連の昭和史研究により菊池寛賞受賞。
2017 年 『ナショナリズムの昭和』で和辻哲郎文化賞を受賞。近現代史の実証的研究を続け、これまで約 4000 人の人々に聞き書き取材を行っている。立教大学社会学部兼任講師、国際日本文化研究センター共同研究員などを歴任。現在、朝日新聞書評委員などを務める。2017 年 4 月から NHK ラジオで『声でつづる昭和人物史』を放送中。著書に『昭和陸軍の研究』、『東條英機と天皇の時代』、『参謀の昭和史 瀬島龍三』、『昭和の怪物 七つの謎』、『昭和史の深層』など多数。近著『近現代史からの警告』（講談社現代新書 / 2020）『吉田茂 戦後日本の設計者』（朝日選書 / 2020）

講座をもっと理解するための書籍 -保阪先生ご推薦-

- 『感染症の世界史』
石弘之 著 (角川ソフィア文庫 / 2018)
- 『コロナ後の世界を生きる—私たちの提言』
村上陽一郎 編 (岩波新書 / 2020)
- 『近現代史からの警告』
保阪正康 著 (講談社現代新書 / 2020)

開催概要

定員: **36名**
時間: **13:30～15:00**
受講料: 各回 **3,000円**
お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。
全回をお申込みの場合も当日分のみ頂戴いたします。
*一括でのお支払いはお受けしません。
資料: 当日配付いたします。

講座に関するご案内

●受講お申込みについて

受講お申込みは、インターネット(同志社大学東京オフィスHP 講座のお申込み)のお申込みフォーム、もしくはFAXで受け付けます。FAXは講座パンフレットに同封している申込用紙に記入し同志社大学東京オフィスにお送りください。

FAX送付先 03-6228-7262

●受講確定と受講票について

1. 講座ごとに、定員になり次第、受付を終了いたします。
2. 応募人数により開講しない場合があります。
3. 定員を超えてお申込みがあった場合、受講できない方には、その旨メールもしくは電話でお知らせいたします。
4. 開講が決定しましたら、受講票を郵送いたします。*受講時の受付に必要です。必ずお持ちください。
5. 各講座は全回もしくは各回でお申込みが可能です。受講の可否は、全回希望者を優先いたしますのでご了承ください。
6. お申込み後、キャンセルをされる場合は、必ず東京オフィスにお電話にてご連絡ください。

●受講料のお支払いについて

受講料は、講座当日に受付で当日分をお支払いください。全回お申込みの場合も、各回ごとのお支払いとさせていただきます。一括でのお支払いはお受けいたしません。

対論に学ぶ

「佐藤優さん・中村うさぎさんと読む フランツ・カフカ『城』」

講義日時 10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10 すべて水曜日

1回2コマ 16:40～18:00 18:10～19:30 途中10分休憩

優れたテキストは、複数の異なる解釈で読み解くことが可能になります。チェコに生活の基盤を置いたユダヤ系ドイツ人作家フランツ・カフカ（1883～1924）の『城』はさまざまな読みを可能にする不思議なテキストです。いくら努力しても到達できない城、エキセントリックな登場人物たちが織りなす物語は、不条理なわれわれの世界を反映しているのだと思います。文学、心理学、神学、哲学、歴史学、さらにわれわれの感情など、さまざまな切り口からこの作品について、中村うさぎさんとの対論を通じて、解釈していきます。また、受講生との双方向性を重視します。オンライン会議システムを用いて同志社大学の学生たちも加わり、神の問題についても掘り下げていきます。（佐藤 優記）



撮影:田形千紘

さとう まさる
講師 佐藤 優

同志社大学神学部 客員教授
作家・元外務省主任分析官

1960 年東京都生まれ。1985 年同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省入省。在ロシア日本大使館勤務などを経て、本省国際情報局分析第一課に配属。主任分析官として対ロシア外交の分野で活躍した。2005 年『国家の民』で第 59 回毎日出版文化賞特別賞受賞。翌年『自壊する帝国』で第 5 回新潮ドキュメント賞、第 38 回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。2019 年『十五の夏』（上下巻）で第8回梅棹忠夫・山と探検文学賞を受賞。『ヤン・プスの宗教改革』（平凡社 / 2020）など著書多数。



撮影:田形千紘

なかむら
講師 中村 うさぎ

小説家、エッセイスト

1958 年福岡県生まれ。同志社大学文学部英文学科卒。1991 年にライトノベルでデビュー。『ゴクドーくん漫遊記』で人気を博す。以後、エッセイストとして買い物依存症、ホストクラブ通い、美容整形、デリヘル勤務などの体験を書く。近著『脳はみんな病んでいる』（新潮社 / 2019）『ぼくは、かいぶつになりたくないのに』（日本評論社 / 2018）他多数。サンデー毎日 人生相談「うさぎとマツコの信じる者はダメされる」連載中。佐藤優氏との共著に『死を語る』（PHP 文庫）『聖書を読む』（文春文庫）がある。

開催概要

定員: 36名

受講料: 各回 3,000円

お支払い: 受講当日の受付で受講日分をお支払いください。
全回をお申込みの場合も
当日分のみ頂戴いたします。

教材: 『城』

カフカ・コレクション
(白水iブックス)新書
白水社1,650円(税込み)
毎回持参のこと。

※本講座は2019年秋学期からの
継続講座ですが、どなたでもご
参加いただけます。

2020年秋学期は183P 14行目
「コラムの名において？」から読み
ます。

●教材・配付資料について

講師指定の教材はご自身でご用意ください。

講師より当日配付される資料の販売はいたしません。

●休講について

講師の急病、自然災害等により、やむを得ず休講することがあります。休講の場合は、同志社大学東京オフィスよりご連絡しますが、ご連絡が間に合わないこともありますので、あらかじめご了承ください。

休講のお知らせはHPに掲載します。休講の場合、今期は補講は行いません。

●受講上の諸注意

住所やメールアドレス、電話番号を変更された場合は、速やかに東京オフィスまでご連絡ください。

講座内容の録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。録音は講師が許可した場合のみ行えます。

講師、受講生の連絡先をお教えることはできません。

講義中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定し音が出ないようにしてください。

講師や他の受講生に迷惑のかかるような行為があった場合は、受講をお断りする場合があります。

※感染状況に応じ、同志社大学の判断で休講する場合があります。

同志社講座 2020年秋学期

2020年8月25日(火) 10時

お申込み 受付開始

WEB

同志社大学東京オフィス

検索

お申込みフォームをご利用ください。

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

FAX

03-6228-7262

同封のお申込み用紙をご利用ください。

個人情報の取扱いについて

お申込みの際に登録させていただく情報(お名前、年齢、現住所、電話番号、メールアドレス)は、講座運営、受講生への連絡、講座情報のご案内のみに利用させていただき、それ以外の目的での利用はいたしません。なお、登録させていただいた個人情報は、同志社大学個人情報基本方針に基づいて厳重に管理いたします。

同志社大学 東京オフィス

平日 9:00~17:00

〒104-0031

東京都中央区京橋2丁目7番19号

京橋イーストビル3階

(中央通り沿い 明治屋ビル向かい 1階みずほ銀行)

TEL : 03-6228-7260

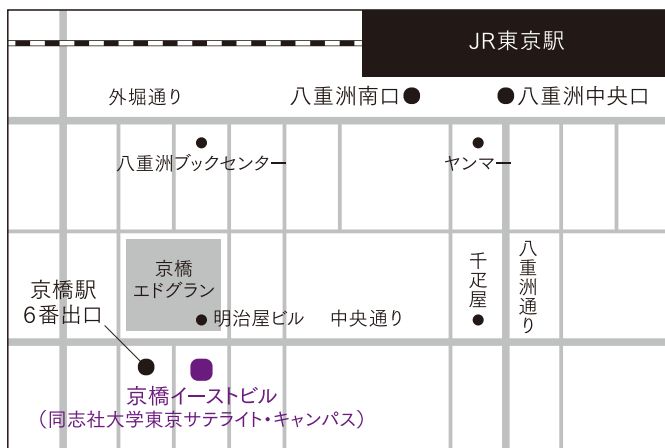
FAX : 03-6228-7262

E-mail: ji-toky1@mail.doshisha.ac.jp

<https://tokyo-office.doshisha.ac.jp/>

同志社大学東京オフィス

検索



- JR「東京」駅 八重洲南口 徒歩6分
- 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目」駅7番出口 徒歩5分
- 東京メトロ銀座線「京橋」駅 6番出口 徒歩1分
- 都営浅草線「宝町」駅 A5~A7出口 徒歩3分